

会 議 録	令和6年7月9日作成	令和10年3月末日廃棄
会議名	京都府舞鶴警察署協議会（令和6年度第1回）	
開催日	令和6年7月3日（水曜日）	
時 間	午後4時から午後5時30分までの間（90分）	
場 所	京都府舞鶴警察署 本庁舎講堂	
出席者	<p>宮本会長、吉岡副会長、土井副会長、伊庭委員、福本委員、笹田委員 加藤委員、桑村委員、澤江委員、前田委員、矢野委員 計11人</p> <hr/> <p>署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長 地域課長代理、刑事課長、交通課長、警備課長、広聴相談係長 計11人</p>	
諮 問 事 項	「夏期における舞鶴警察署の重点対策」について	
会 議 内 容	<p>1 委嘱状交付 司会 副署長</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 署長挨拶</p> <p>4 舞鶴警察署幹部署員紹介</p> <p>5 舞鶴警察署協議会委員紹介</p> <p>6 協議 司会 会長</p> <p>(1) 諮問事項説明</p> <p>夏休み期間中における子供の防犯対策について～生活安全課長</p> <p>【委員】夏休み期間になれば、中高生は部活等で外に出ることが多いが、最近の小学生は、気温上昇等もあり、外で遊ぶよりも自宅や友達の家等の涼しい場所でゲーム等をして遊ぶことが増えてきている。</p> <p>外での防犯対策も大切であるが、親が仕事で不在の間に子供たちだけで自宅等で遊んでいるとき、例えば物が無くなった、あれが壊れた等のトラブル等が増えるのではないかと懸念している。</p> <p>【委員】最近の子供たちは、パーソナルな関係よりもオンラインゲーム等で全く知らない人とつながる機会が増えており、そこで知り合った者から呼び出される等のトラブルも増加していると耳にする。</p> <p>ネット社会であり、地理的・時間的に制約がなく幅広くなってしまう</p>	

が、子供たちを守るために今後はこの様な問題に対しても対処していく必要があると思う。

【委員】 刑法犯認知件数が増加しているのはコロナ禍が明けたことによるものと思うが、増加の要因は何か。

また、虐待が増加傾向の背景は何か。

【警察】 コロナ禍が明けたことが一番の要因と考えている。

普段の日常生活が戻ったことにより、刑法犯認知件数もコロナ禍前の件数に戻りつつある。

そのため、減少していた件数を維持するべく今後も活動していく。

虐待について件数が増加しているのは、第三者の目撃がない、防犯カメラがないなど、真偽を明らかにするための裏付けができない場合も積極的に書面通告をしているためである。

また、多数の子供がいる家庭で、子の面前で親同士が喧嘩をした場合、子供一人一人に対する心理的虐待となり、子供一人ずつに対して通告を行う。

児童相談所と軽微な疑いの段階から情報を共有して連携を行うことにより、いち早く危険を察知し、対処している。

しかし、身柄付き通告が増加しているのは由々しき事態であり、今後も児童相談所と連携しながら活動していく。

(2) 諮問事項説明

海浜警備について～地域課長

【委員】 海浜警備で、海上保安庁とのすみ分けはどのようになっているのか。

【警察】 海域でのすみ分けはしていない。

警察は海上保安庁と同様に船舶による海からの警戒をしているが、海上における密漁等の犯罪検挙件数は、海上保安庁の方が多い。しかし、警察は沿岸警備をしており、普段、人気がない所に車が止まっている場合等、普段との違いを端緒に船舶と連携して密漁等の犯罪検挙活動をしている。

つまり、警察は陸上から警戒、検挙することに主眼を置いている。今後も海上保安庁とは常に連携した海浜警戒を実施していく。

(3) 諮問事項説明

飲酒運転対策～交通課長

【委員】 飲酒運転ではないが、夏休み期間になれば子供たちが日中に外出することも増える。また、白鳥通では子供たちが大好きなマクドナルドが開店したことからも、さらに出掛ける子供たちが増えると思う。

夏休み期間中のドライバーへの注意喚起も大切であるが、子供たちへの交通ルール等の交通安全啓発活動も重要だと思う。

会 議
内 容

【委員】 飲酒運転については、肌感覚では減ってきていると感じていたが、舞鶴署管内の飲酒運転が多いというのは意外であった。人口比で多いのか単純に件数が多いのか。

また、私自身も舞鶴市内で飲酒すると、時間帯によってはバスやタクシー等がなく、交通難民になることが多くある。飲酒運転を減らすには、飲酒後の交通手段を確保することが大切ではないかと思う。

【警察】 警察署ごとの検挙件数については公表を控えているが、府内で一番という訳ではなく、減少傾向にはあるものの、いまだ件数として飲酒運転が多いと言わざるを得ない状況である。

飲酒後の帰宅方法がないという件については、タクシードライバーが不足しているという問題があり、新聞等にも記載されているとおり、7月から舞鶴市によるタクシー会社への夜間の増車台数に応じた助成をする事業が始まっている。

今後も必要な部分で市と情報共有、連携をして対策を講じていき、当署としても飲酒検問や啓発活動を実施し、飲酒運転根絶に向けた活動を行っていく。

【委員】 議題には関係ないが、先日、舞鶴署員が高校野球の審判をされるとの新聞記事が掲載されていた。

警察官の業務外での活躍を目にしたり耳にすると、地域と交流してくれているのだと嬉しく思う。

また、業務外での活躍や能力、その経験を業務に反映していただけていると思っており、期待している。

そのためにも、幹部の方は署員の方が業務外で趣味等に没頭して生活を充実できるような職場環境を整えていただければと思う。

(4) 諮問事項説明

災害対策について～警備課長

【委員】 過去に舞鶴市も豪雨災害の被害に遭っており、日頃からの対策が重要であると感じている。

今回、装備資機材を紹介していただき、給水型の土嚢袋というものを初めて知ることができ、自主防災につなげていこうと思う。

7 事務連絡

令和6年度第2回京都府舞鶴警察署協議会は、令和6年9月18日午後1時30分から実施予定である。

以上

第1回京都府舞鶴警察署協議会の開催状況

